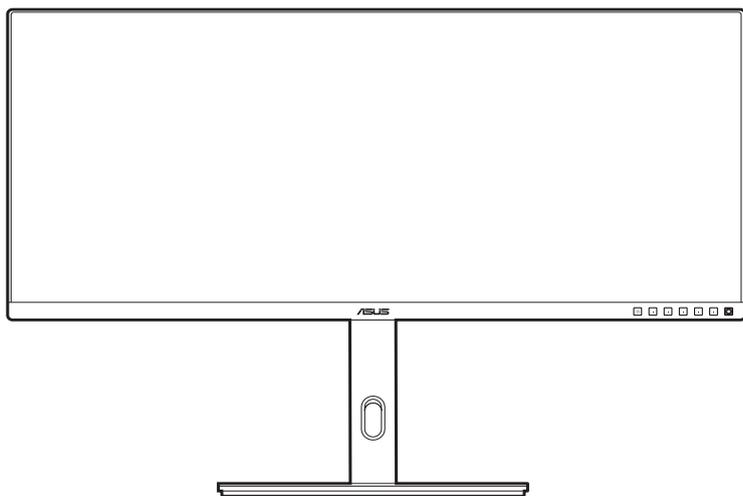


**ASUS®**

**PA348CGV**

**シリーズ LCD モニター  
ユーザーガイド**



**HDMI™**  
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

第 1 版

2022 年 3 月

**Copyright © 2022 ASUSTeK COMPUTER INC. 版權所有。**

購入者がドキュメントをバックアップの目的に保管する場合を除き、本マニュアルの内容は、記載されている製品およびソフトウェアを含み、いかなる部分も、ASUSTeK COMPUTER INC.（「ASUS」）の書面による許諾を受けることなく、どのような形態であっても、複製、転送、転載、検索システムに保管、他の言語に翻訳することは禁じられています。

次の場合は製品保証またはサービスの対象外となります：(1) ASUS の書面による承認なく製品を修理、変更、改造した場合、または (2) 製品のシリアル番号が読めなかつたり紛失した場合。

ASUS は本マニュアルを現状のまま配布し、商品性や特定目的への適合性を含む一切の明示的あるいは黙示的保証はいたしかねます。本マニュアルまたは製品の故障が原因による損害の可能性について ASUS が報告を受けていた場合を含み、いかなる場合も、ASUS、同社の取締役、執行役員、従業員、販売店は、損失、事業損失、使用やデータの損失、事業の中断などの損害を含む一切の間接損害、特別損害、付随的損害、派生的損害に対し、責任を負いかねます。

本マニュアルに記載されている仕様と情報は情報提供を目的としたものであり、予告なしに変更されることがあり、ASUS の責任とは見なされません。ASUS は、本マニュアルに記載された製品およびソフトウェアを含み、本マニュアルに記載された一切の間違いや不正確性について責任を負いかねます。

本マニュアルに記載された製品および会社名は、該当する会社の登録商標または著作権を有する場合があります。侵害することなく、指示および表示、所有者の利益にのみ使用します。

# 目次

目次 .....	iii
ご注意 .....	iv
TCO 認証.....	vi
安全情報 .....	vii
お手入れ方法.....	viii
Takeback Services.....	ix
EU エネルギーラベルにかかる製品情報.....	ix
<b>第 1 章：製品の説明</b>	
1.1 はじめに！ .....	1-1
1.2 同梱されているもの.....	1-1
1.3 各部の説明 .....	1-2
1.3.1 前面図 .....	1-2
1.3.2 後面図 .....	1-4
<b>第 2 章：設定</b>	
2.1 モニターのアーム / ベースを組み立てる .....	2-1
2.2 C 型クランプを使う（別売り） .....	2-2
2.3 アーム / ベースを取り外す（VESA 規格壁取り付け用） .....	2-3
2.4 モニターを調整する.....	2-4
2.5 ケーブルを接続する.....	2-5
2.6 モニターの電源を入れる.....	2-6
<b>第 3 章：一般説明</b>	
3.1 OSD（スクリーン表示）メニュー .....	3-1
3.1.1 設定の仕方 .....	3-1
3.1.2 OSD 機能の説明 .....	3-2
3.2 仕様の要約.....	3-12
3.3 アウトライン寸法.....	3-14
3.4 トラブルシューティング（よくあるご質問） .....	3-15
3.5 サポートするオペレーティングモード.....	3-16

## ご注意

### 米国連邦通信委員会 (FCC) 宣言

本製品は、FCC 基準パート 15 に準拠しています。操作は次の 2 つの条件に規定されます。

- 電波障害を起こさないこと、
- 誤動作の原因となる電波障害を含む、受信されたすべての電波障害に対して正常に動作すること。

本装置は、FCC 基準パート 15 に準ずるクラス B のデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。これらの制限事項は、住宅地域で使用した場合に生じる可能性のある電磁障害を規制するために制定されたものです。本装置は高周波エネルギーを生成および使用し、また放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しない場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。しかしながら、特定の設置状況においては電波障害を起こさないという保証はありません。本装置がラジオやテレビの受信に障害を与えていないかを判断するには、本装置の電源をオン/オフしてみます。受信障害が発生している場合には、以下の方法で受信障害を改善することをお薦めします。

- 受信アンテナの方向または設置位置を変える。
- 本装置と受信機の距離を離す。
- 本装置を別の電源に接続してください。
- 販売店やラジオ / ビデオの専門技術者に問い合わせる。



---

FCC 規制への準拠を確実にするには、シールドされたケーブルを使ってモニターをグラフィックスカードに接続する必要があります。FCC 準拠に責任を持つ第三者からの明確な許可を受けることなく、本体に承認されていない変更や改造が行われた場合には、本装置を使用する権利が規制される場合があります。

---

## ENERGY STAR 準拠製品



ENERGY STAR とは、米国環境保護庁と米国エネルギー省のジョイントプログラムで、エネルギー効率の良い製品および実践を通して、お金を節約し、環境を保護することができます。

ENERGY STAR ロゴ付きのすべての ASUS 製品は、ENERGY STAR 基準に準拠しており、デフォルトで、電源管理機能が有効になっています。モニターおよびコンピューターは、それぞれ、10 分間または 30 分間未使用状態が続くと、自動的にスリープモードに移行します。コンピューターをスリープモードから復帰させるには、マウスをクリックするか、キーボードのキーを押してください。電源管理機能およびそのメリットの詳細については、<http://www.energystar.gov/powermanagement> にアクセスしてください。また、ENERGY STAR ジョイントプログラムの詳細については <http://www.energystar.gov> にアクセスしてください。



注：ENERGY STAR は、FreeDOS および Linux ベースのオペレーティングシステムをサポートしません。

## カナダ通信省宣言

本デジタル機器は、カナダ通信省の電波障害規制に定められたデジタル機器の無線雑音放出に対するクラス B 制限に適合しています。

本クラス B デジタル機器はカナダ ICES-003 に準拠します。

This Class B digital apparatus meets all requirements of the Canadian Interference - Causing Equipment Regulations.

Cet appareil numérique de la classe B respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouiller du Canada.

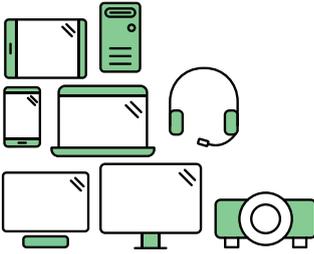


# TCO 認証

A third-party certification according to ISO 14024



Toward sustainable IT products



## Say hello to a more sustainable product

IT products are associated with a wide range of sustainability risks throughout their life cycle. Human rights violations are common in the factories. Harmful substances are used both in products and their manufacture. Products can often have a short lifespan because of poor ergonomics, low quality and when they are not able to be repaired or upgraded.

**This product is a better choice.** It meets all the criteria in TCO Certified, the world's most comprehensive sustainability certification for IT products. Thank you for making a responsible product choice, that help drive progress towards a more sustainable future!

Criteria in TCO Certified have a life-cycle perspective and balance environmental and social responsibility. Conformity is verified by independent and approved verifiers that specialize in IT products, social responsibility or other sustainability issues. Verification is done both before and after the certificate is issued, covering the entire validity period. The process also includes ensuring that corrective actions are implemented in all cases of factory non-conformities. And last but not least, to make sure that the certification and independent verification is accurate, both TCO Certified and the verifiers are reviewed regularly.

### Want to know more?

Read information about TCO Certified, full criteria documents, news and updates at [tcocertified.com](https://www.tcocertified.com). On the website you'll also find our Product Finder, which presents a complete, searchable listing of certified products.

## 安全情報

- モニターをセットアップする前に、同梱されている説明書をすべて熟読ください。
- 火災や感電を避けるために、モニターは雨や湿気にさらさないでください。
- モニターキャビネットは開けないでください。モニター内の高電圧で大怪我をする危険があります。
- 電源の故障はご自分で修理しないでください。資格のあるサービス担当技師または小売店までご相談ください。
- 製品を使用する前に、すべてのケーブルが正しく接続されていること、および電源ケーブルに破損がないことを確認します。破損がある場合は直ちに販売店までご連絡ください。
- キャビネットの背面や上部のスロットや開口部は通気用です。スロットは塞がないでください。正しく換気されている場合を除き、本製品を暖房器具やその他の熱を発生するもののそばに置かないでください。
- モニターはラベルに表示されている電源タイプでのみご使用ください。ご自宅に供給されている電源タイプが分からない場合は、販売店または地域の電力会社までお問い合わせください。
- お住まいの地域の電源規格に適合する電源プラグをお使いください。
- 電源ストリップや延長コードに負荷を掛け過ぎないようにします。過負荷は火災や感電の原因になることがあります。
- 埃、湿度、高温は避けてください。モニターは濡れる可能性がある場所には置かないでください。モニターは安定した場所に設置します。
- 雷や長期間使用しない場合は、ユニットの電源を抜きます。これにより電力サージによる破損を防ぎます。
- モニターキャビネットのスロットに固形物や液体を入れしないでください。
- モニターが正しく動作するように、100～240V AC 間の正しく設定されたコンセントの付いた UL 規格のコンピュータでのみ使用してください。
- アースされたコンセントに接続すること。
- モニターに技術的な問題が発生した場合は、資格のある技師または小売店までご相談ください。
- 音量調整やイコライザーを中心設定からずらすと、イヤフォン/ヘッドフォンの出力電圧が上がるため、音圧レベルも上がります。



X 印の付いたごみ箱の記号は、製品（電気・電子機器、水銀を含むボタン式バッテリー）を家庭ごみと一緒に廃棄してはいけないことを示しています。電気製品の廃棄については、地方自治体の規制を確認してください。

## お手入れ方法

- モニターを持ち上げたり位置を変えたりする前に、ケーブルと電源コードを取り外すことをお勧めします。モニターを配置する際は、正しい手順で持ち上げます。モニターを持ち上げたり運ぶ際には、モニターの端をつかみます。スタンドやコードを持ってディスプレイを持ち上げないでください。
- お手入れ。モニターの電源を切って電源コードを取り外します。モニターの表面は、リンフリーで研磨剤を付けてない布を使って拭いてください。頑固な汚れは、マイルドなクリーナーで湿らせた布で取り除いてください。
- アルコールやアセトンを含むクリーナーは使用しないでください。液晶画面用のクリーナーをお使いください。クリーナーを直接画面にスプレーしないでください。モニターの内部に液体が入り、感電の原因になることがあります。

### 次のような症状はモニターの故障ではありません：

- ご使用のデスクトップの模様により、画面の明るさがわずかに不均一に見える場合があります。
- 同じ画面を数時間表示した後で画像を切り替えると、前の画面の残像が残ることがあります。画面はゆっくりと回復します。または、電源スイッチを数時間切ってください。
- 画面が黒くなったり点滅する場合や動作しない場合は、販売店またはサービスセンターで修理してください。画面はご自分で修理しないでください。

### 本ガイドで使用する記号の意味



警告：怪我を防止するための情報です。



注意：コンポーネントの破損を防止するための情報です。



重要：遵守しなければならない情報です。



注記：アドバイスと追加情報です。

## 詳細情報について

製品とソフトウェアの最新情報については下記をご覧ください。

### 1. ASUS Web サイト

ASUS Web サイトでは、ASUS ハードウェアおよびソフトウェア製品について世界中に最新情報を提供しております。<http://www.asus.com> を参照してください。

### 2. その他のドキュメント

製品には、販売店が添付したドキュメントが同梱されていることがあります。そのようなドキュメントは標準パッケージには含まれていません。

## Takeback Services

ASUS recycling and takeback programs come from our commitment to the highest standards for protecting our environment. We believe in providing solutions for our customers to be able to responsibly recycle our products, batteries and other components as well as the packaging materials.

Please go to <http://csr.asus.com/english/Takeback.htm> for detail recycling information in different region.

## EU エネルギーラベルにかかる製品情報



PA348CGV



## 1.1 はじめに！

ASUS® 液晶モニターをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

ASUS の最新のワイドスクリーン液晶モニターは、大視野角のクリアで鮮明な画面とさまざまな機能で、より一層見やすくなりました。

これらの各種機能で、便利で快適なビジュアル体験を心ゆくまでお楽しみください。

## 1.2 同梱されているもの

パッケージに次の項目が揃っていることを確認してください。

- ✓ 液晶モニター
- ✓ モニターの台
- ✓ クイックスタートガイド
- ✓ 保証書カード
- ✓ 電源コード
- ✓ HDMI ケーブル（別売り）
- ✓ DisplayPort ケーブル（別売り）
- ✓ USB C から A 変換ケーブル（別売り）
- ✓ USB C から C 変換ケーブル（別売り）
- ✓ C 型クランプ（別売り）
- ✓ カラー校正テストレポート
- ✓ ProArt ウェルカムカード



---

破損しているものや入っていないものがある場合は、直ちに小売店までご連絡ください。

---



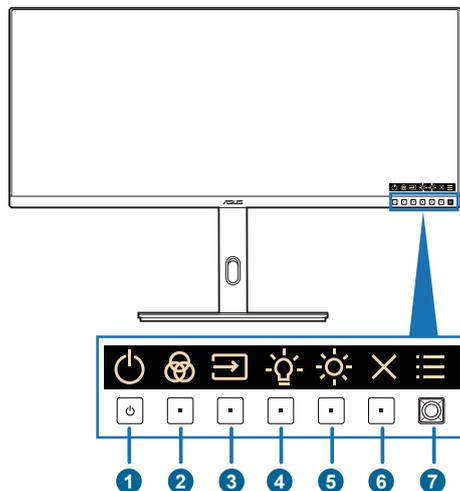
---

電源コードや接続ケーブルを交換する場合は、ASUS カスタマーサービスまでお問合せください。

---

## 1.3 各部の説明

### 1.3.1 前面図



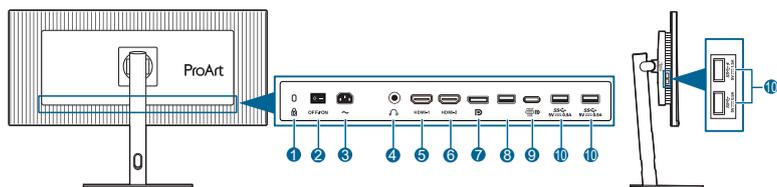
1. 電源ボタン/電源インジケータ
  - モニターの電源をオン/オフにします。
  - 電源インジケータの色定義は次の表のとおりです。

ステータス	説明
白	オン
橙色	スタンバイモード
オフ	オフ

- このボタンを押すと、OSD がオフのとき OSD メニューが表示されます。
2. プリセットボタン：
    - このボタンを押すと、OSD がオフのとき OSD メニューが表示されます。
    - ProArt Preset モードを選択します。
  3. 信号ボタン：
    - このボタンを押すと、OSD がオフのとき OSD メニューが表示されます。
    - 使用可能な入力ソースを選択します。

4.  ショートカット 2
  - このボタンを押すと、OSD がオフのとき OSD メニューが表示されます。
  - デフォルト：青色光ホットキー
  - ホットキーの機能を変更するには、ショートカット > ショートカット 2 メニューに移動します。
5.  ショートカット 1
  - このボタンを押すと、OSD がオフのとき OSD メニューが表示されます。
  - デフォルト：明るさホットキー
  - ホットキーの機能を変更するには、ショートカット > ショートカット 1 メニューに移動します。
6.  終了ボタン：
  - このボタンを押すと、OSD がオフのとき OSD メニューが表示されます。
  - OSD メニューを終了します。
7.  メニュー（5方向）ボタン：
  - このボタンを押すと、OSD がオフのとき OSD メニューが表示されます。このボタンを再度押すと、OSD メインメニューが開きます。
  - 選択した OSD メニュー項目を実行します。
  - 値を増減したり、選択を上/下/左/右に移動します。
  - 1 秒以内に 2 回押すと、現在の入力信号が表示されます。入力信号メッセージが表示されたら、このボタンを素早くダブルタップすると次の入力源に切り替えることができます。
  - 5 方向ボタンを 5 秒間以上上下に押すと、キーのロック機能をオン/オフにできます。

## 1.3.2 後面図



1. ケンジントンロックスロット。
2. 電源スイッチ。スイッチを押して電源のオン/オフを切り替えます。
3. AC 入力ポート。このポートは電源コードを接続します。
  - 重要：本製品付属の AC アダプターおよび/または電源コード以外で本機に電力を供給しないでください。
  - 付属の AC アダプターおよび/または電源コードを他の製品に使用しないでください。故障、事故の原因となります。

4. イヤホンジャック。このポートは、HDMI/DisplayPort/USB Type-C ケーブルが接続されているときにしか使用できません。
5. HDMI-1 ポート。HDMI 対応機器と接続します。
6. HDMI-2 ポート。HDMI 対応機器と接続します。
7. DisplayPort イン。このポートは DisplayPort 互換デバイスに接続するためのものです。
8. USB 2.0 Type A。このポートはサービス用です。
9. USB 3.2 Gen 1 Type-C (DP Alt モードに対応)。DisplayPort/USB Type-C 対応デバイスと接続します。USB 電源とデータ配信に対応する USB Type-C ケーブルも接続できます。



このモニターは、Super-Speed USB 3.2 Gen 1 互換です (5Gbps)。このポートは電圧 5V/3A、9V/3A、12V/3A、15V/3A、20V/4.5A で最大 90W を供給します。

10. USB 3.2 Gen 1 Type A。これらのポートは USB キーボード/マウス、USB フラッシュドライブなどの、USB デバイスに接続するためのものです。



SS アイコンが付いたポートは BC1.2 対応 (5V/1.5A) です。





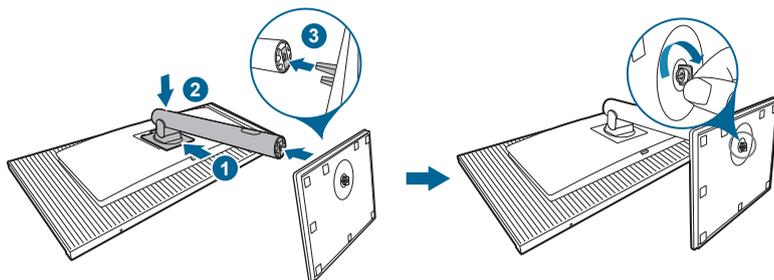
## 2.1 モニターのアーム / ベースを組み立てる

モニターのベースを組み立てるには、以下の手順に従います。

1. モニター面の正面を下にしてテーブルの上に置きます。
2. アームをモニターに取り付けます。
3. アームのつまみがベースの凹みにしっかりと収まるように、ベースをアームに取り付けます。
4. 付属のネジを使って、アームをベースに固定します。



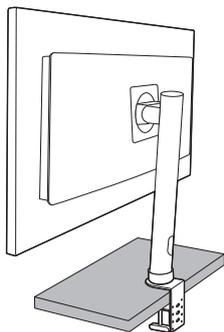
モニターの破損を防ぐために、柔らかい布を掛けたテーブルの上に置くことをお勧めします。



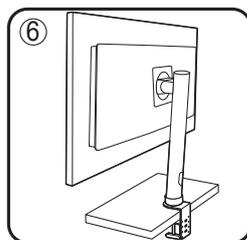
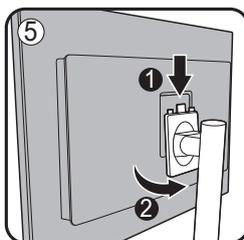
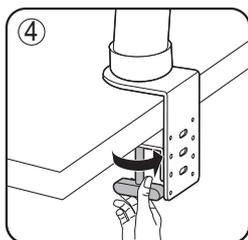
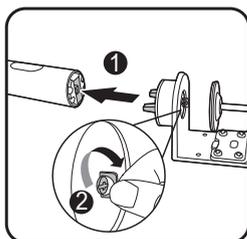
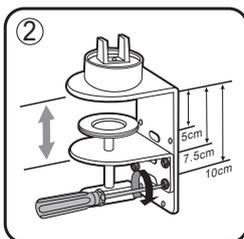
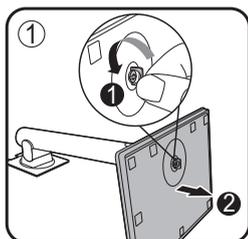
ベースのネジサイズ：M6 x 16.2 mm。

## 2.2 C型クランプを使う（別売り）

C型クランプは最大 10 cm の厚さの面にモニターを取り付けるためのものです。作業を開始する前に、クランプ全体が収まる十分な空間があり、面が平たく安定していることを確認してください。



下図を参考に、モニターを取り付けてください。



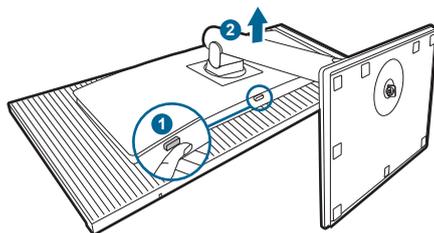
モニターの破損を防ぐために、柔らかい布を掛けたテーブルの上に置くことをお勧めします。

## 2.3 アーム / ベースを取り外す (VESA 規格壁取り付け用)

本モニターの取り外し可能アーム/ベースは、VESA 規格壁取り付け用に特別に設計されています。

アーム/ベースの取り外し：

1. モニター面の正面を下にしてテーブルの上に置きます。
2. 取り外しボタンを押して、アーム/ベースをモニターから取り外します。



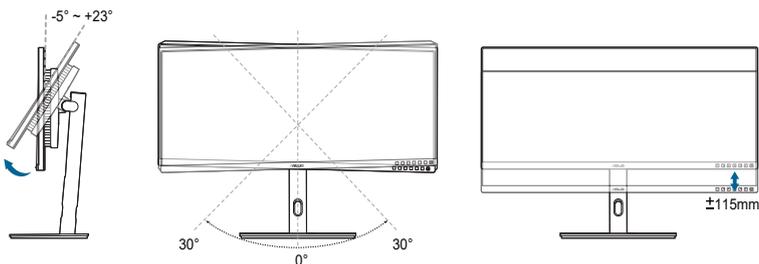
モニターの破損を防ぐために、柔らかい布を掛けたテーブルの上に置くことをお勧めします。



- VESA 壁取り付けキット (100 x 100 mm) は別売です。
- 22.7kg 以上の重量 / 荷重を持つ UL 指定の壁取り付けブラケットのみを使用してください (ねじ寸法：M4 x 10 mm)

## 2.4 モニターを調整する

- 最適な表示のために、モニターの正面を見てから、最も見やすくなるようにモニターの角度を調整することをお勧めします。
- 角度を変えているとき、スタンドを持ち、モニターが落ちることを防ぎます。
- モニターの角度を  $+23^\circ$  から  $-5^\circ$  の間で調整し、左右どちらからでも  $30^\circ$  のスイベル調整が可能です。モニターの高さを  $\pm 115\text{ mm}$  の範囲内で調整することもできます。



(チルト)

(回転)

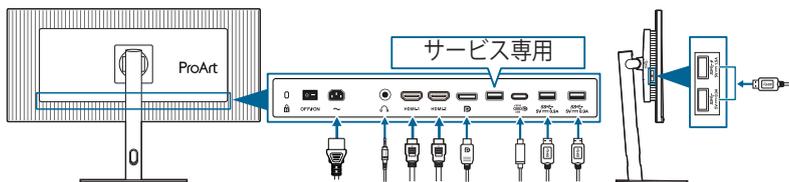
(高さ調整)



視野角を変更する際にはモニターが多少揺れますが、これは通常の動作です。

## 2.5 ケーブルを接続する

次の指示に従ってケーブルを接続します。



- **電源コードの接続**：電源コードの一方の端をモニターの AC 入力ポートにしっかり接続し、もう一方の端を電源コンセントに接続します。
- **DisplayPort/HDMI/USB Type-C\* ケーブルを接続する**：
  - a. DisplayPort/HDMI/USB Type-C\* ケーブルの一方の端をモニターの DisplayPort/HDMI/USB Type-C ジャックに差し込みます。
  - b. DisplayPort/HDMI/USB Type-C\* ケーブルのもう一方の端をコンピュータの DisplayPort/HDMI/USB Type-C ジャックに差し込みます。



USB 公式 Type-C ケーブルをお使いになることをお勧めします。信号源が DP Alt モードに対応している場合は、オーディオとデータ信号を転送できます。

- **イヤフォンを使う**：HDMI/DisplayPort/USB Type-C 信号を入力する場合は、プラグタイプの端子をモニターのイヤフォンジャックに挿入します。
- **USB 3.2 Gen 1 ポートを使う**：
  - » アップストリーム：USB Type-C ケーブルを使って、アップストリーム用に Type-C コネクタをモニターの USB Type-C ポートに接続し、もう片方のコネクタをコンピュータの USB Type-C ジャックに接続します。または、USB Type-C - A ケーブルを使って、アップストリーム用に Type-C コネクタをモニターの USB Type-C に接続し、Type-A コネクタをコンピュータの USB Type-A ジャックに接続します。コンピュータに最新の Windows 10/Windows 11 オペレーティングシステムがインストールされているか確認してください。これにより、モニターの USB ポートを使用できるようになります。
  - » ダウンストリーム：USB ケーブルを使ってデバイスとモニターの USB Type-A ジャックを接続します。



これらのケーブルを接続するとき、OSD メニューの**信号**項目から希望の信号を選択することができます。



電源コードや接続ケーブルを交換する場合は、ASUS カスタマーサービスまでお問合せください。

## 2.6 モニターの電源を入れる

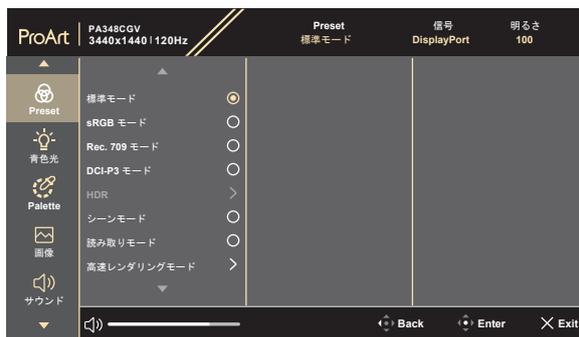
電源ボタン  を押します。電源ボタンの位置については1-2ページを参照してください。電源インジケータ  が白く点灯し、モニターの電源が入ります。





## 3.1 OSD（スクリーン表示）メニュー

### 3.1.1 設定の仕方



1. どのボタンでも押すと、OSD メニューが開きます。
2. ≡メニュー（5方向）ボタンを押して、OSD メインメニューが開きます。
3. ≡メニュー（5方向）ボタンを上下左右に移動して、機能をナビゲートします。目的の機能をハイライトして≡メニュー（5方向）ボタンを押してアクティブにします。選択した機能にサブメニューがある場合、≡メニュー（5方向）ボタンを上下に移動してサブメニュー機能をナビゲートします。目的のサブメニュー機能をハイライトして≡メニュー（5方向）ボタンを押すか≡メニュー（5方向）ボタンを移動してアクティブにします。
4. ≡メニュー（5方向）ボタンを上下に移動して、目的の機能の設定を変更します。
5. OSD メニューを保存して終了するには、✕ボタンを押すか OSD メニューが消えるまで≡メニュー（5方向）ボタンを左に繰り返し移動します。他の機能を調整するには、ステップ 1-4 を繰り返します。

## 3.1.2 OSD 機能の説明

### 1. Preset

この機能には 10 つのサブ機能があり、お好みに合わせて選択いただけます。各モードにはリセット選択があり、設定を維持したり、プリセットモードに戻ることができるようになっています。



- **標準モード**：ドキュメント編集に最適です。
- **sRGB モード**：sRGB カラースペースと互換があり、sRGB モードは、ドキュメント編集に最適な方法です。



sRGB モードは Energy Star<sup>®</sup> 要件を満たしています。

- **Rec. 709 モード**：Rec. 709 カラースペースと互換があります。
- **DCI-P3 モード**：DCI-P3 カラースペースと互換があります。
- **HDR**：ハイダイナミックレンジ。3 つの HDR モードがあります（PQ Optimized、PQ Clip、PQ Basic）。
- **シーンモード**：風景画を表示するのに最適です。
- **読み取りモード**：読書に最適です。
- **高速レンダリングモード**：高リフレッシュレートの性能をシミュレートして、別のバックライト周波数を生成します。



高速レンダリングモードは 75Hz、100Hz、120Hz でしかアクティベートされません。



この機能を有効にするには、次の手順にしたがってください。 **Freesync Premium Pro/VR** および **ダイナミック調光** をオフにします。**明るさ**、**青色光**、**Freesync Premium Pro/VR**、**バックライト**、**Trace Free**、**ダイナミック調光** は、この機能を使用している間は調整できません。

- ユーザーモード1/ユーザーモード2：その他のアイテムは OSD メニューで調整可能です。

次の表は、各プリセットモードの既定値をまとめたものです。

機能	標準モード	sRGBモード	Rec. 709モード	DCI-P3モード	HDR	シーンモード	読み取りモード	高速レンダリングモード	ユーザーモード1/ユーザーモード2
カラー	6500K	固定6500K	6500K	P3-Theater (D65 & P3 Theaterのみ)	固定6500K	有効(6500K)	無効	有効(6500K)	固定6500K
明るさ	50	固定80ニト	100ニト	48ニト	無効	100	9	無効	50
コントラスト	80	80	80	80	無効	80	80	80	80
鮮明度	有効(0)	有効(0)	有効(0)	有効(0)	有効(0)	有効(0)	有効(0)	有効(0)	有効(0)
彩度	中(50)	無効	中(50)	中(50)	無効	有効(50)	無効	有効(50)	有効(50)
色相	中(50)	無効	中(50)	中(50)	無効	有効(50)	無効	有効(50)	有効(50)
Palette	有効(デフォルト)	無効	有効(デフォルト)	有効(デフォルト)	有効(RGBゲインのみ)	有効	有効	有効	有効(RGBゲインのみ)
黒レベル	有効(信号50)	有効(信号50)	有効(信号50)	有効(信号50)	有効(デフォルト)	有効(信号50)	有効(信号50)	有効(信号50)	有効(信号50)
ガンマ	有効(2.2)	固定(2.2)	有効(2.4)	固定2.2/2.6のみ	無効	無効	有効(2.2)	有効(2.2)	固定2.2
入力範囲	有効(自動)	有効(自動)	有効(自動)	有効(自動)	有効(自動)	無効	無効	無効	有効(自動)

## 2. 青色光

この機能では、ブルーライト低減レベルを調整できます。



- **レベル 0**：変更なし。
- **レベル 1~4**：レベルが高くなるほど、ブルーライトの量が少なくなります。青色光を有効にすると、標準モードのデフォルト設定が自動的に向上されます。レベル 1 からレベル 3 の間では、ユーザーが調整できる機能は明るさです。レベル 4 は最適化された設定です。TUV 低ブルーライト認証に準拠しています。明るさはユーザーが調整することはできません。この機能を有効にすると、ECO Mode は自動的にオフになります。



目の疲れを軽減するためには、次のアドバイスを参考にしてください。

- 長時間コンピュータの前に座っている場合は、時々休憩を入れてください。コンピュータを1時間連続操作した後は、短い休憩（5分以上）を取ってください。1回長い休憩を取るよりも、何度か短い休憩を取る方が効果的です。
- 目の疲れやドライアイを防止するには、定期的に遠くにある物を見つめて目を休めてください。
- 目の体操をすると、目の疲れを軽減できます。次に紹介する体操を時々行ってください。目の疲れがとれないときには、病院を受診してください。目の体操：(1) 目を上下に動かす (2) 目をゆっくりと回す (3) 目を対角状に動かす。
- 強いブルーライトは目の疲れや AMD（加齢性黄斑変性症）を誘発します。ブルーライト低減をご使用になると、70%（最大）のブルーライトを削減して CVS（コンピュータ視覚症候群）を防止することができます。

### 3. Palette

このメニューから希望のカラー設定を設定します。



- **明るさ**：調整範囲は 0 ~ 100 です。
- **コントラスト**：調整範囲は 0 ~ 100 です。
- **彩度**：調整範囲は 0 ~ 100 です。
- **色相**：緑と紫の間で画像の色をシフトします。
- **カラー**：9300K、6500K、5500K、5000K および P3-Theater の 5 つのモードがあります。
- **ガンマ**：カラーモードを 2.6、2.4、2.2、2.0、1.8 (Mac) に設定します。
- **黒レベル**：最も暗いグレイレベルの第一信号レベルを調整します。
  - \* **信号**：調整範囲は 0 ~ 100 です。
  - \* **バックライト**：調整範囲は 0 ~ 10 です。
- **色**：
  - \* 6 軸色相調整。
  - \* 6 軸彩度調整。
  - \* 赤、緑、青 のゲインレベルを調整します。
  - \* 赤、緑、青 の黒レベルオフセット値を調整します。
- **色のリセット**：
  - \* リセットされた現在のカラーモード：  
現在のカラーモードを工場出荷時の初期値設定にリセットします。
  - \* リセットされたすべてのモードカラー：  
すべてのカラーモードを工場出荷時の初期値設定にリセットします。

#### 4. 画像

このメニューから画像関連の設定を設定します。



- **鮮明度**：調整範囲は 0 ~ 100 です。
- **Trace Free**：モニターの応答時間を調整します。
- **アスペクトコントロール**：縦横比を**フル画面**、**4:3**、**1:1**、**16:9**、**16:10**、**OverScan** に調整します。



**4:3** は入力ソースが 4:3 形式のときのみ使用できます。**16:9** は入力ソースが 16:9 形式のときのみ使用できます。**16:10** は入力ソースが 16:10 形式のときのみ使用できます。**OverScan** は HDMI 入力源でしか使用できません。この機能を有効にするには、次の手順にしたがってください。**Adaptive-Sync**、**PBP** をオフにして、デバイスの HDR を無効にしてください。

- **入力範囲**：ディスプレイの黒から白までの全表示範囲をマップします。

## 5. サウンド

このメニューからボリューム、ミュート、音声入力を調整できます。



- **ボリューム**：調整範囲は 0～100 です。
- **ミュート**：モニターの音源をオン/オフにします。
- **音声入力**：モニターのサウンドソースを決定します。

## 6. PIP/PBP

PIP/PBP メニューは本来の映像信号のメインウィンドウとは別に、他の映像信号（入力源が 60Hz のとき）から別のサブウィンドウを開きます。



この機能を有効にするには、次の手順にしたがってください。 **FreeSync Premium Pro/VRR** および **ダイナミック調光** をオフにします、デバイスの HDR を無効にします。



- **PIP/PBP モード**：PIP、PBP 機能を選択します。またはオフにします。



PBP モードで両方のディスプレイをフルスクリーンにスケールを合わせるには、OS ディスプレイ設定で両方の解像度を 1720 x 1440 に設定します (Intel グラフィックカードをお使いの場合は、スケールオプションが「ディスプレイ・スケーリングの維持」に設定されていることを確認してください)。

- **PIP/PBP ソース**：HDMI-1、HDMI-2、DisplayPort、USB Type C のうちのいずれかの映像入力源を選択します。下の表は入力源の組み合わせを示したものです。

		メインウィンドウ			
		HDMI-1	HDMI-2	DisplayPort	USB Type C
サブウィンドウ	HDMI-1	あり	あり	あり	あり
	HDMI-2	あり	あり	あり	あり
	DisplayPort	あり	あり	あり	あり
	USB Type C	あり	あり	あり	あり

- **PIP サイズ**：PIP サイズを小さい、中、大きいに調整します。(PIP モードでのみ使用できます)

## 7. QuickFit Plus

別の種類の配置パターンを使用できます。



- **安全領域**：デザイナーおよびユーザーは、ページ上でコンテンツやレイアウトを構成し、見た目に統一感を持たせることができます。選択肢：1:1、操作安全、タイトルセーフ、3 x 3。
- **センターマーカー**：タイプ 1、タイプ 2、タイプ 3 を調整します。
- **Customization**：フレームサイズは メニュー (5 方向) ボタンを上/下/左/右に動かして決定します。 メニュー (5 方向) ボタンを 3 秒以上押しすと、単位をミリからインチに変更できます。
- **Ruler**：このパターンには上および左に実際のルーラーが表示されます。 メニュー (5 方向) ボタンを 3 秒以上押しすと、単位をメートル法から帝国単位に変更できます。

## 8. 信号

入力ソースを選択できます。



1秒以内に ≡メニュー（5方向）を2回押すと、現在の入力信号が表示されます。入力信号メッセージが表示されたら、このボタンを素早くダブルタップすると次の入力源に切り替えることができます。

## 9. 設定

システムの調整ができます。



- **FreeSync Premium Pro** (DisplayPort、USB Type-C) /VRR (HDMI) : FreeSync Premium Pro 対応\* グラフィック ソースが電力を節約するために標準コンテンツのフレームレートでディスプレイのリフレッシュレートをダイナミックに調整し、スタッターを防止しながら、ディスプレイ更新の遅延を低減します。



\* **FreeSync Premium Pro** は、48Hz~120Hz (DisplayPort、USB Type-C) のはんいでしか有効にすることができません。

**VRR** は、48Hz~100Hz (HDMI) の範囲でしか有効にすることができません。

\* 対応する GPU、PC とドライバの最低必要条件については、GPU の製造元にお問合せください。

この機能を有効にするには、次の手順にしたがってください。**PIP/PBP** をオフにして、**アスペクトコントロールをフル画面**に設定し、**DisplayPort ストリーム**を **DisplayPort 1.2** または **DisplayPort 1.4** に設定してください。

- **ダイナミック調光**：バックライトのダイナミック調光を実行するためにコントラストを変更するとき、コンテンツを同期します。同期速度を「**高速**」、「**中**」、「**ゆっくり**」に調整できます。



この機能を有効にするには、次の手順にしたがってください。**PIP/PBP** および **高速レンダリングモード**をオフにします。

- **USB 設定**：USB Type C ポートの設定を構成します。USB 設定のパラメータは、USB Type C ポートに接続されている場合に限り出力解像度に影響します。USB 2.0 と USB 3.1 では技術的な違いがあるため、USB の最大データスループット（帯域とその他の関連する特性）が異なります。そのため、最大出力解像度にも影響します。

- \* **USB 3.1**：USB Type-C ポートの 3.1 仕様に基づくデータ転送レートでは、メインリンク用に 2 本の列しかありません。

- \* **USB 2.0**：USB Type-C ポートの 2.0 仕様に基づくデータ転送レートでは、メインリンク用に 4 本の列しかありません。



USB Type-C から Type-A 変換ケーブルを使用すると、データ転送レートは USB 3.1 のままです。



入力源が DisplayPort または HDMI ポートに接続されていると、USB 設定の設定を変更しても解像度は変わりません。

- **パワーレベル**：省エネ中にハブの電源オンとして**標準レベル**を選択します。省エネ中にハブの電源オフとして**ディープレベル**を選択します。
- **メニュー設定**：
  - \* メニュー タイムアウトを 10 ~ 120 秒の範囲で調整します。
  - \* DDC/CI 機能の有効/無効を切り替えます。
  - \* OSD の背景を不透明から透明まで調整します。

- **DisplayPort ストリーム**：グラフィックカードとの互換性。グラフィックカードの DP バージョンに応じて **DisplayPort 1.1**、**DisplayPort 1.2** または **DisplayPort 1.4** を選択します。



この機能を有効にするには、次の手順にしたがってください。**FreeSync Premium Pro/VRR** をオフにします。

- **キーのロック**：すべての機能キーを無効にします。5 方向ボタンを 5 秒以上長押しすると、キーロック機能がキャンセルになります。
- **電源インジケータ**：電源 LED インジケータのオン/オフを切り替えます。
- **言語**：英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、オランダ語、ポルトガル語、ロシア語、チェコ語、クロアチア語、ポーランド語、ルーマニア語、ハンガリー語、トルコ語、簡体字中国語、繁体字中国語、日本語、韓国語、タイ語、インドネシア語、ペルシャ語、ウクライナ語の 22 の言語から選択できます。
- **情報**：モニター情報を表示します。
- **すべてのリセット**：「はい」でデフォルト設定を復元できます。

## 10. ショートカット

ショートカット 1 ボタンとショートカット 2 ボタンの機能を定義します。



- **ショートカット 1/ショートカット 2**：ショートカット 1 ボタンとショートカット 2 ボタンの機能を選択します。



特定の機能が選択されたりアクティブになっているとき、ショートカットキーがサポートされないことがあります。ショートカットの使用可能な選択：青色光、明るさ、コントラスト、PIP/PBP、カラー、ボリューム、sRGB モード、Rec. 709 モード、ユーザーモード 1、ユーザーモード 2。

## 3.2 仕様の要約

パネルタイプ	TFT LCD
パネルサイズ	34" (21:9、86.36 cm) ワイド画面
最大解像度	3440 x 1440
ピクセルピッチ	0.2325 mm x 0.2325 mm
明るさ (標準)	350 cd/m <sup>2</sup> (SDR)、400 cd/m <sup>2</sup> (HDR)
コントラスト比 (標準)	1000:1
表示角度 (H/V) CR>10	178°/178°
画面の色数	1.07 B
応答時間	2 ms (グレイからグレイ)
ProArt Preset 選択肢	10 つのビデオプリセットモード
自動調整	なし
カラーの選択	5 つのカラー
アナログ入力	なし
デジタル入力	DisplayPort v1.4、HDMI 2.0 x 2、USB Type-C で DisplayPort
デジタル出力	なし
イヤフォンジャック	あり
オーディオ入力	なし
スピーカー (内蔵)	2 W x 2 ステレオ、RMS
USB 3.2 Gen 1 ポート	1 x USB 3.2 Gen 1 Type-C 4 x USB 3.2 Gen 1 Type-A
色	黒
電源 LED	白 (オン) / 橙色 (スタンバイ)
チルト	+23° ~ -5°
ピボット	なし
回転	+30° ~ -30°
高さ調整	115 mm
ケンジントンロック	あり
AC 入力電圧	AC : 100 ~ 240 V
消費電力	電源オン : < 29.7 W** (標準)、スタンバイ : < 0.5 W (標準)、電源オフ : 0 W (スイッチオフ)
温度 (動作時)	0°C ~ 40°C
温度 (非動作時)	-20°C ~ +60°C
スタンドなしの寸法 (幅 x 高さ x 奥行き)	817.6 x 368.2 x 68.9 mm
スタンドを含めた寸法 (幅 x 高さ x 奥行き)	817.6 x 568.9 x 245 mm (最高)、 817.6 x 453.9 x 245 mm (最低)、 930 x 488 x 300 mm (パッケージ)
重量 (およそ)	12.2 kg (純量)、7.8 kg (純量、スタンドを含まず)、 17 kg (総量、C 型クランプを含む)、15.7 kg (総量、 C 型クランプを含まず)

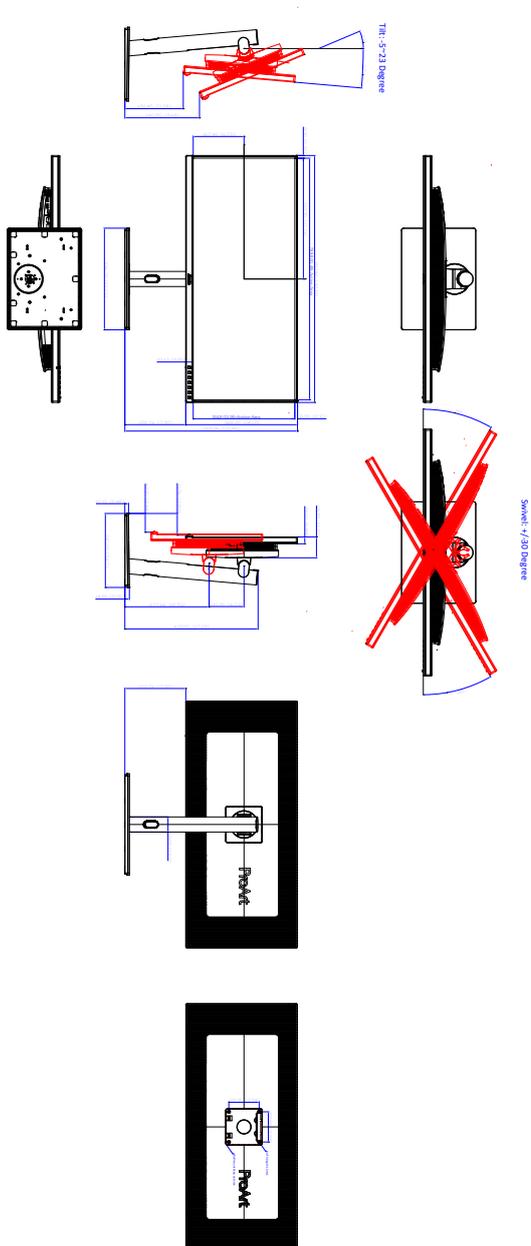
多言語	22 の言語 (英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、オランダ語、ポルトガル語、ロシア語、チェコ語、クロアチア語、ポーランド語、ルーマニア語、ハンガリー語、トルコ語、簡体字中国語、繁体字中国語、日本語、韓国語、タイ語、インドネシア語、ペルシャ語、ウクライナ語)
付属品	クイックスタートガイド、保証書カード、電源コード、HDMI ケーブル (別売り)、DisplayPort ケーブル (別売り)、USB C から A 変換ケーブル (別売り)、USB C から C 変換ケーブル (別売り)、C 型クランプ (別売り)、カラー校正テストレポート、ProArt ウェルカムカード
法令準拠と規格	UL/cUL、FCC、ICES-3、EPEAT Bronze、CB、CE、ErP、WEEE、TUV-GS、TUV-Ergo、ISO 9241-307、UkrSEPRO、Ukraine Energy、CU、CCC、CEL、BSMI、RCM、VCCI、PSE、PC Recycle、J-MOSS、KC、KCC、e-Standby、PSB、Energy Star <sup>®</sup> 、TCO、CEC、RoHs、Windows 10/11 WHQL、Flicker Free、Low Blue Light、CECP

\*仕様は事前の通知なしに変更することがあります。

\*\*オーディオ/USB/カードリーダーを接続せずに、200 ニトのスクリーン輝度を測定しました。

### 3.3 アウトライン寸法

ASUS PA348CGV Outline Dimension  
\*Unit: mm(inch)



### 3.4 トラブルシューティング（よくあるご質問）

トラブル	対応策
電源 LED がオンにならない	<ul style="list-style-type: none"><li>⏻ ボタンを押してモニターがオンモードであることを確認します。</li><li>電源コードがモニターとコンセントに正しく接続されていることを確認します。</li><li>電源スイッチがオンになっているかどうかをチェックします。</li></ul>
電源 LED が橙色に点灯し画面画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"><li>モニターとコンピュータがオンモードであることを確認します。</li><li>信号ケーブルがモニターとコンピュータに正しく接続されていることを確認します。</li><li>信号ケーブルのピンが曲がっていないかどうか点検します。</li><li>コンピュータを他のモニターと接続して、コンピュータが正しく動作することを確認します。</li></ul>
画面画像が明るすぎる/暗すぎる	<ul style="list-style-type: none"><li>OSD でコントラストと明るさの設定を調整します。</li></ul>
画面画像が跳ねたり、画像に波模様が入る	<ul style="list-style-type: none"><li>信号ケーブルがモニターとコンピュータに正しく接続されていることを確認します。</li><li>電気障害を起こす可能性のある電気デバイスを遠ざけます。</li></ul>
画面画像の色に異常がある (白が白に見えない)	<ul style="list-style-type: none"><li>信号ケーブルのピンが曲がっていないかどうか点検します。</li><li>OSD ですべてのリセットを実行します。</li><li>OSD で赤/ 緑/青の色設定を調整するかカラーを選択します。</li></ul>
音が出ない/音声が低い	<ul style="list-style-type: none"><li>HDMI/DisplayPort/USB Type-C ケーブルがモニターとコンピュータに正しく接続されていることを確認します。</li><li>モニターと HDMI/DisplayPort/USB Type-C デバイスのボリューム設定を調整します。</li><li>コンピュータのサウンドカードドライバが適切にインストールされ、有効になっていることを確認します。</li></ul>

### 3.5 サポートするオペレーティングモード

解像度周波数	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセル (MHz)
640 x 480	31.47(N)	59.94(N)	25.18
640 x 480	37.87(N)	72.82(N)	31.5
640 x 480	37.5(N)	75.00(N)	31.5
720 x 400	31.47(N)	70.08(P)	28.32
800 x 600	35.16(P)	56.25(P)	36
800 x 600	37.88(P)	60.32(P)	40
800 x 600	48.08(P)	72.12(P)	50
800 x 600	46.86(P)	75.00(P)	49.5
832 x 624	49.72(P/N)	74.55(P/N)	57.28
1024 x 768	48.36(N)	60.00(N)	65
1024 x 768	56.476(N)	70.069(N)	75
1024 x 768	60.02(N)	75.00(N)	78.75
1152 x 864	67.5(P/N)	75.00(P/N)	108
1280 x 720	45.00(P)	60.00(N)	75.25
1280 x 800	49.7(P)	60.00(N)	83.5
1280 x 960	60.00(P)	60.00(N)	108
1280 x 1024	79.98(P)	75.02(N)	135
1440 x 900	55.94(N)	59.89(P)	106.5
1600 x 1200	75.00(P)	60.00(P)	162
1680 x 1050	65.29(P)	60.00(P)	146.25
1920 x 1080	67.5(P)	60.00(P)	148.5
2560 x 1440	88.79(P)	59.95(N)	241.5
3440 x 1440	88.8(P)	59.973(N)	319.75
3440 x 1440 (DPのみ)	111.875(P)	75.002(N)	403.3
1720 x 1440	88.83(P)	59.980(N)	167
3440 x 1440 (DPのみ)	73.68(P)	50(N)	265.25
3440 x 1440	151(P)	100.00(N)	531.52
3440 x 1440 (DPのみ)	182.986(P)	119.911(N)	658.75

「P」/「N」は、入力 H-sync/V-sync (入力タイミング) の「プラス」と「マイナス」の極性を示しています。

モニターがビデオモードで動作している場合は (データを表示しない)、標準制度ビデオに加え、次の高精度モードもサポートされます。

解像度	垂直周波数 (Hz)
1920 x 1080p	50Hz
	60Hz
1280 x 720p	50Hz
	59.94Hz
	60Hz
720 x 576p	50Hz
720 x 480p	59.94Hz
	60Hz
640 x 480p	60Hz

